



2016.6.

6月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

半袖が心地よい季節になりました。日中はどんどん気温が上がり、熱中症の予防に水分補給を心がけ、まだ体が「汗をかく」準備が出来ていない子どもたちには、顔色や汗のかき具合を見てクールダウンの時間を採るように心がけています。

毎朝、登園後自由に遊ぶ子どもたちは、どうやら園に着く前から何をして遊ぶか決めていたらしい子や、誰と遊ぶか決めていたのだろう子たちなど、それぞれが思うままに動き出します。

でも時折、じっとしたまま園庭に立っている子や、保育室の出入り口に立って外を見ている子が居ます。遊びに加わりたいのだけれど言い出せなくてモジモジしている、のとは少し違う様子です。ある朝にも一人、そんな風情の園児がいました。

「何かの遊びに参加していない」状態は、私たちを不安にします。つい声をかけてみたり、砂場やブランコに誘ってみたりと、動く契機を与えてしまいそうになります。

でも、じっとしている子は、動きはなくても、周囲を見て、音や声を聞き、心の中に色々な感触や思いが生まれているのだと思います。それらが何かの形になった時、子どもは自分から動き出すのでしょうか。そう思って我慢して、見るともなく視界には入れて様子を観察していると、園児のふと動いた視線と私の視線が結びつきました。するとその園児は、フワッと笑ってこちらに手を振ってくれました。小さく、そっと。

心の動きが直接伝わってきたような一コマでした。

子どもたちは、言葉よりも先に身体の動作や表情の動きで気持ちや考えを伝えてくるのですが、目に見える動きだけに頼らず、心の動きを感じ取れるようになりたいと思います。

年主題 『平和とともに』

<年主題聖句> 「キリストは私たちの平和であります。」

(エフェソの信徒への手紙2章14節)

6月主題 『動き出す』

<聖句> 「見よ、それは極めて良かった。」 (創世記1章31節)